

討論 1-1

自治会を利用した政府の管理方式

キム・エラン

(基地村問題解決のためのセウムト生存者諮問委員 共同代表)

こんにちは。私はキム・エランです。基地村について話をしようと思って出てきました。

韓国政府と米国政府は自治会を利用して基地村女性たちを管理し統制しました。私がその生き証人です。私が直接に経験したのでよく知っています。それでその話をしようとの討論会に参加しました。

第一に、自治会が女性たちを登録したことです。

韓国政府が命じて自治会が女性たちを登録したと思います。女性たちが基地村で働こうとするときは、まず自治会に行って登録をします。会員証は翌日に受け取りました。自治会で会員証をもらって検診証を作るために保健所に行きました。自治会と保健所に登録をしないと、クラブで仕事を始めることができませんでした。ところで保健所では必ず自治会の会員証をもらってこさせます。もしも会員証がなかったら検診パス（検診証）を作ってくれませんでした。保健所は政府の組織ではありませんか？つまり自治会は政府の命令で私たちに登録をさせたのです。

第二に、教育です。

自治会の会員になれば教育をする会議には必ず行かねばなりません。自治会の会議があれば、自治会ではクラブの支配人とクラブのオーナーに伝えます。会議に行ってみると、あるときは保健所の所長と観光協会の会長が来ており、またあるときは警察署長と郡庁の職員も来ていました。自治会は政府がやらせている仕事だからこのような人たちが集まったのだらうと思います。自治会の会議が女性どうし集まって会議をする場ならば、なぜこんな人たちが来るのでしょうか？こんな人たちが私たちを集めて言うことがあるから自治会を通じて私たちを集めさせたのです。

自治会の会議をやるとなれば、自治会の話はほんの少しだけで、観光協会会長、保健所職員、警察署の職員、こんな人たちばかりが発言をしました。自治会長が出てきて、もらった会費を何に使ったのか、現在いくら残っているのか話してくれたら会議は終わりです。そのあとは観光協会の会長が出てきて演説をしたのですが、ビールをたくさん売って、米軍にサービスをちゃんとして、ドルを稼げといいました。そのあとは警察署の職員が出てきて話をしますが、米兵たちとケンカせず米兵たちにやさしく十分にサービスをして警察署に来るなといい、保健所の人が出てきて性病がとても多いから検診をまじめに受け

て米軍たちにコンドームをちゃんと配れといいました。あるときは性病についての映画も見せてくれましたが、米軍部隊の民事課と部隊の病院の人がいっしょに出てきました。あるときは英語の講師を連れてきてクラブで使う英語を教えてくださいました。

女性たちは徹夜で働いて、もう寝ないといけない時間なのに、政府の人たちが決めた時間に出かけて3時間も4時間も教育を受けました。そして教育は米兵が出てくる時間に終わりました。女性たちのことは全然考えずに、米軍を相手にドルをたくさん稼がせました。

私が言いたいことは、自治会の会議なのにどうして政府の人たちがこんなにたくさん出席したのかということです。名前だけは自治会だったけれど、政府が女性たちを教育しようとして集めさせたのです。

そして自治会長は女性たちに家を建ててやる、工場を建ててやると書いていたのですが、自治会長にそんなお金があるはずはありません。自分自身もクラブで働いていた女性だったのに。そして会長の仕事をしながらどうして食っていくことができたのだろうか？政府がお金をくれると言ったのではないか？自治会は会長以外にも副会長、事務長たちなど職員がたくさん居たのですが、そのような人々の月給はどこから支払われていたのでしょうか？そして自治会事務所の賃貸料は誰が出していたのでしょうか？会費から出すという報告も受けたことがありません。給料をもらわずに働きはしなかったでしょう。政府が支援していたと思います。そして義政府では自治会長が保健所性病診療所の仕事ではじめから生計を立てていました。そして検診を受けに来た女性たちを受け付けて、検診番号札を配っていました。自治会長が保健所の職員がすべき仕事を分担していました。検診に来た女性たちの一覧表を自治会長が見て記入するわけで、政府職員とどこが違うのですか？

つまり私の話はこういうことです。韓国と米国政府は自分たちで私たちを管理するのが難しいから、基地村女性で自治会を作って、自治会を前面に立てて管理したのです。性病検診をちゃんと受けるように教育も受けさせました。韓国政府と米国政府は自分たちが犯した過ちを認め、謝罪と補償をしなければなりません。